



競輪補助事業概要のお知らせ

この度、2021年度のJKA競輪公益資金の補助を受けて、下記のとおり事業を実施いたしました。

記

- 1 補助事業名 2021年度地域社会の安全・安心に資する活動補助事業
- 2 補助事業者名 公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
- 3 実施場所 27都道府県
- 4 補助事業の概要

(1) 事業の目的

少年の立ち直り支援を効果的に推進するためには、それにふさわしい場のあることが望ましい。農作物の栽培、収穫等の農業体験には、ひとつの物事に継続して取り組むことによる忍耐力の涵養やこれらの体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上にとどまらず、情操面における教育効果も期待でき、立ち直り支援の場として相応しいと考えられる。さらに、農作業活動においては、その期間中には、農作業面だけでなく、人生経験豊かな少年警察ボランティアが話し相手となり、生活面での指導等も行われており、少年の立ち直りには大きな効果が期待できる。このため、当協会では、全国の少年警察ボランティアと協力し、青少年の健やかな成長を育む活動として、実施しているものである。

(2) 実施内容

① 人との絆を大切に

千葉県少年警察ボランティア協議会は、令和3年4月から同年11月にかけて、市原市菊間の水田・畑(田植え、サツマイモの収穫)、松戸市河原塚の畑(サツマイモの収穫)、の2地区において、農業体験を通じた立ち直り支援活動を実施しました。第1回目は、令和3年4月25日、市原市菊間の水田において、少年、ボランティア、警察職員等関係者計29名で田植え体験を行いました。参加した少年からは、「田んぼから足が抜けなくなって大変だったけれど、最後まで植えることが出来た。」との感想が寄せられました。この活動の様子は、朝日・毎日新聞、テレビ朝日・千葉テレビのニュースで取り上げられました。第2回目は、10月16日に松戸市河原塚の畑で、少年及びその家族、ボランティア、警察職員等関係者計23名でサツマイモの収穫体験を行いました。第3回目は、11月13日に市原市



菊間の畑で、少年とその保護者、ボランティア、警察職員等関係者計38名が参加して、サツマイモの収穫体験を行いました。参加した少年からは、「初めは小さい芋しか見つけられなかったけれど、段々大きな芋を見つけることができるようになり、楽しかった。」、大学生ボランティアからは、「4月の田植えの時に参加した少年が自分のことを覚えていてくれて嬉しかった。」、農業指導者からは「支援活動を通じて、少年たちとの絆ができたら嬉しい。」等の感想が寄せられ、人との絆の大切さを改めて感じる事ができた体験活動でした。

② 少年の成長を実感した農業体験

大阪少年補導員連絡協議会は、令和3年4月から同年12月の間、泉佐野市・貝塚市の2地区において、継続補導少年ら延べ21名、少年警察ボランティア延べ3名、警察職員等関係者延べ21名、大阪府職員・学校教員・学生ボランティア等延べ63名が参加して、「農業体験（野菜作り及び米作り活動）を通じた立ち直り支援活動」を実施しました。活動は農業指導者からの指導の下、少年らは野菜の種や苗の植え付け、水やり、草



引き等を行いました。また、水田に設置する案山子の作成、コンバインを用いた稲穂の刈り取り等の作業を体験しました。事業の実施に際しては、少年の学校の担任や保護者にも参加を勧め、また収穫した農作物は少年に持ち帰らせる等して、少年が学校や保護者との交流を深めるきっかけになるよう働きかけを行いました。参加した少年からは、「作業をしていると暑かったり腰が痛くなったりする。その辺で売っている野菜や米が、実はとてもしんどい思いをして育てていることが分かった。水田に立てる案山子を作ったりコンバインを自分で操縦できて面白かった。野菜等を持ち帰ると、お母さんが嬉しそうに話ができ楽しかった。」ボランティアからは、「初めて来たときには不満を訴え、嫌々やらされている雰囲気を出していた少年らが、一緒に様々な作業をしていく中で、挨拶に応じ、笑顔を見せるようになり、そして自分から率先して作業をするようになる等、その変化は驚くばかりです。」との感想が寄せられ、少年の成長を見ることができた活動となりました。

③ 子供たちのために地域が協力

熊本県少年警察ボランティア連絡協議会は、令和3年6月から12月にかけて、熊本市北区梶尾町所在の畑地において、継続補導少年17名を含む、少年警察ボランティア、少年サポーター、農作業指導者、警察関係者等合計延べ74名が参加して、「農業体験『芋の植え付け及び収穫』活動」を実施しました。新型コロナの感染拡大防止のため、6月のサツマイモの植え付けと8月のジャガイモの植え付け及び除草作業は、ボランティアと警察職員によって実施しましたが、10月の第3回目では、新型コロナの感染状況が落ち着いたことから、子供たちと共に畑の除草作業やイモの生育状況の観察などを行いました。第4回目は、12月に少年11名が参加してサツマイモとジャガイモの収穫を行いました。今年は、夏の長雨とその後の

雨不足により、苗が枯れたり害虫が大量発生するなどのトラブルもありましたが、ボランティアや地域の方々の水を蒔いたり苗を植え直すなど、収穫を楽しみにしている子供たちのために協力していただき、無事収穫するに至りました。子供たちは、最初、日頃慣れてない畑仕事に戸惑っていましたが、大学生ボランティアと一緒に土深く生えている芋を掘り起こすと、嬉しそうに歓声を上げていました。参加した少年からは、「色んな人と話が出来てとても楽しかった。」「こんなにいっぱいお芋が取れて驚いた。」ボランティアからは、今年夏の長雨や日照り続きで、苗が枯れたため植え直すなどのトラブルもあったが、地域の方々の協力もあり、無事沢山のサツマイモ等が収穫できた。色んな方が子供たちのために協力していただき、感謝している。」等の感想が寄せられ、多くの方の協力で成り立った農業体験活動となったようです。



5 予想される事業実施効果

少年の再非行（再犯）の看過は、将来を担う少年を健全に育成するという精神に反するものであり、非行（犯行）の反復は、非行（犯行）の悪質化、さらには成人犯罪者も含め社会全体の治安の悪化につながることになる。

農業体験活動によって、支援対象少年がひとりでも多く立ち直れば、少年の健全育成という国民の願いが叶い、また犯罪発生数の減少によって治安が安定し、安全・安心な社会を実現する。

6 本事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの（URL）

該当なし。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの（URL）

該当なし。

7 事業内容についての問い合わせ先

団体名：コウエキシヤダシホウジンゼンコクシヨウネンケイサツ公益社団法人全国少年警察ボランティア協会キョウカイ

住所：〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門パレス303号

代表者：役職名リシヤウ理事長いしかわ石川ただし正

担当者名：役職名ギョウワカチョウ業務課長えんどう遠藤いさお功 mail-isao.e3945@kbd.biglobe.ne.jp

電話番号：03-3239-4970

F A X：03-3556-1133

U R A：<http://zeshokyo.ecs.or.jp/>